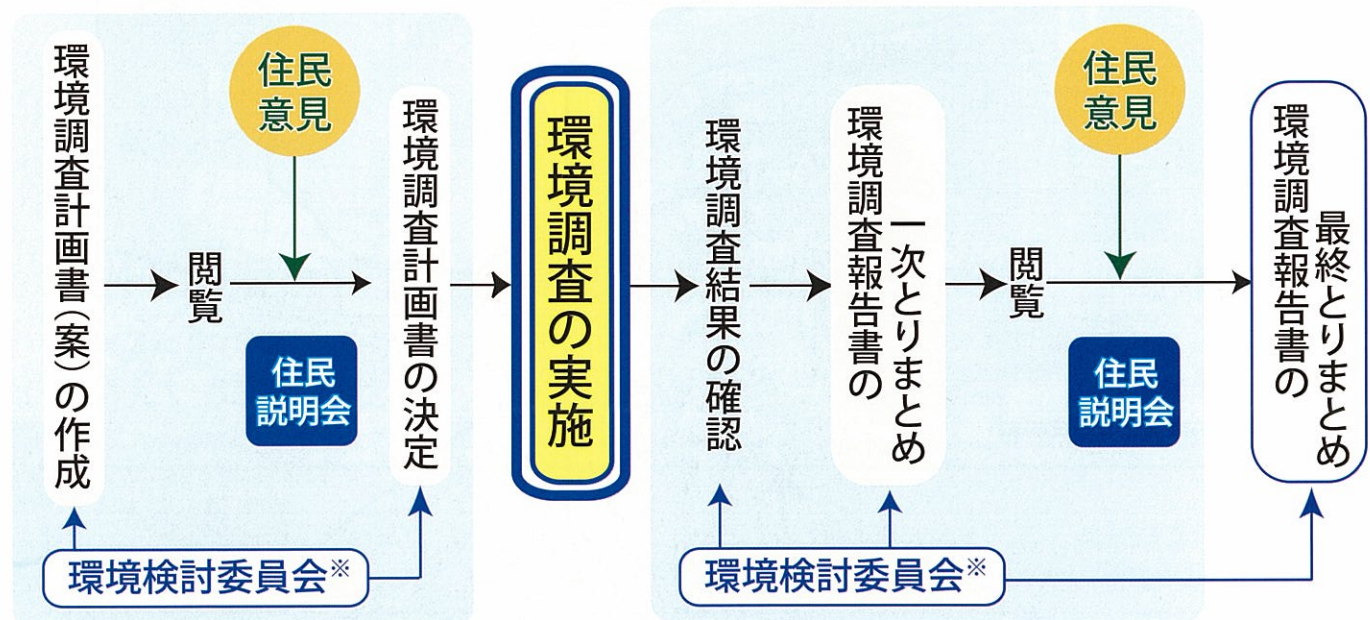


大橋川改修事業 環境調査計画

大橋川環境調査について

斐伊川水系大橋川改修事業が、宍道湖、大橋川、中海（本庄工区含む）、境水道の環境に与える影響を把握するため、環境調査を実施します。

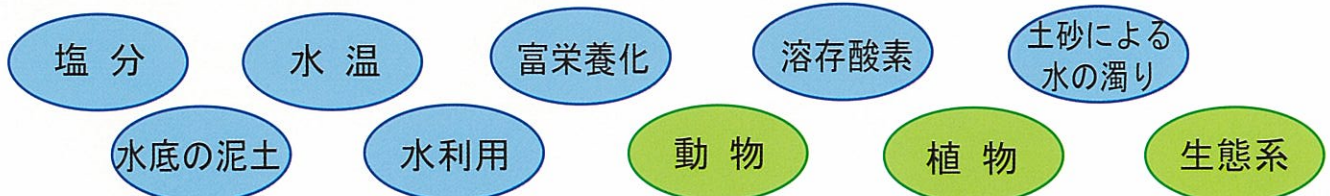
環境調査計画書（案）の作成から調査の実施、環境調査報告書の作成までの手順は以下のとおりです。



※環境検討委員会：大橋川改修に関する環境検討委員会

大橋川環境調査の実施

大橋川改修事業では、水環境や生物に係る10個の環境要素※について調査・予測・評価を行います。



※水環境に係る調査は、塩分、水温、富栄養化、溶存酸素、土砂による水の濁り、水底の泥土、水利用
生物に係る調査は、動物、植物、生態系

大橋川改修に関する環境検討委員会

大橋川改修が与える環境変化については、水環境や生物の科学的データと専門的知識に基づく客観的な評価を行うことが重要です。

そのため、環境に関する各分野の学識経験者などからなる「大橋川改修に関する環境検討委員会」を設置しています。

大橋川改修事業環境調査計画書は、「大橋川改修に関する環境検討委員会」において技術的助言や指導をいただき、作成しています。

大橋川改修に関する環境検討委員会

委員

相崎 守弘(水 質)	岡田 昭明(地質学)
國井 秀伸(植 物)	越川 敏樹(魚 類)
佐藤 仁志(鳥 類)	島谷 幸宏(河川生態)
清家 泰 (水 質)	高安 克己(環境地質)
竹中 稔 (鳥 類)	田中 宏明(水 質)
鶴崎 展巨(動物学)	中村 幹雄(魚介類)
福岡 捷二(河川工学)	細井 由彦(水 質)
○ 道上 正規(河川工学)	

※敬称略五十音順、○は委員長、()内は専門分野

オブザーバー

鳥取県

島根県

国土交通省国土技術政策総合研究所
環境研究部河川環境研究室

技術的助言・指導

(調査項目・調査手法
予測とその結果の評価など)

国土交通省 出雲河川事務所

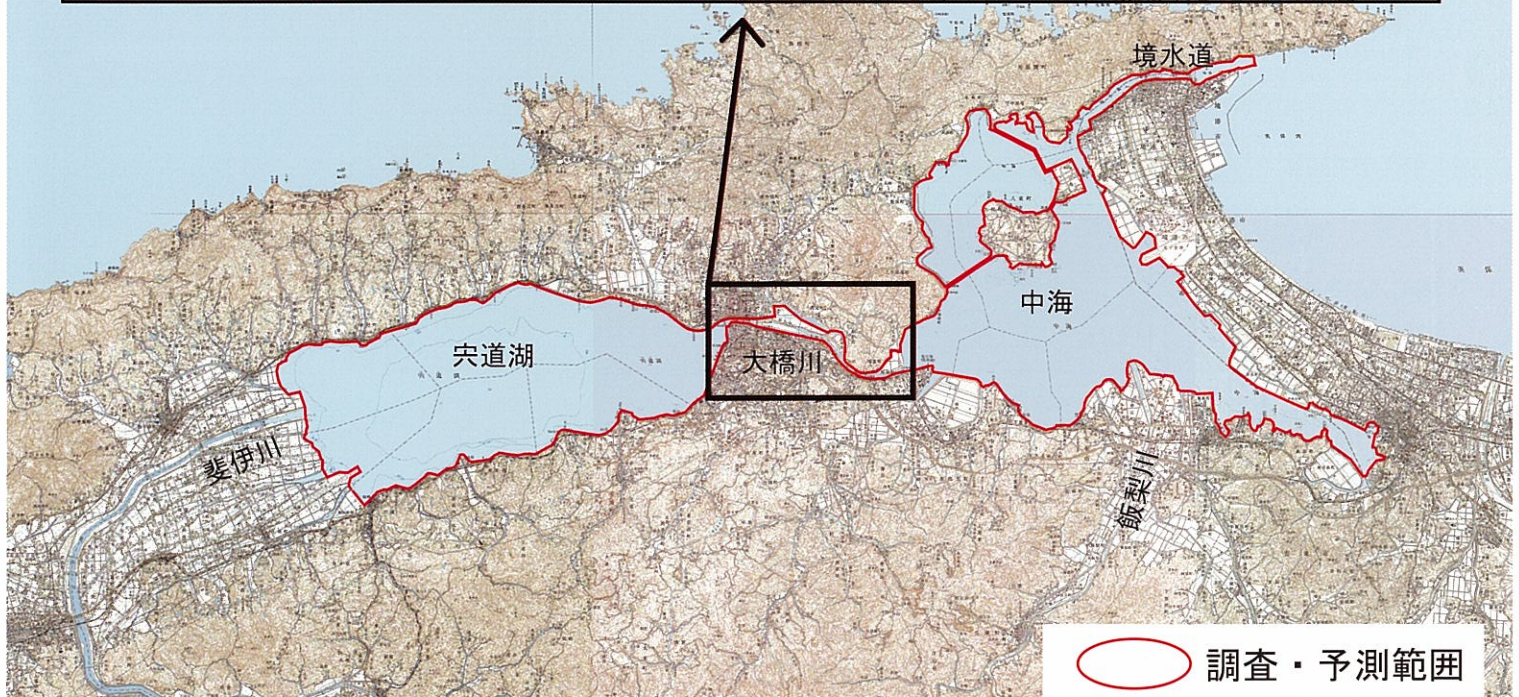
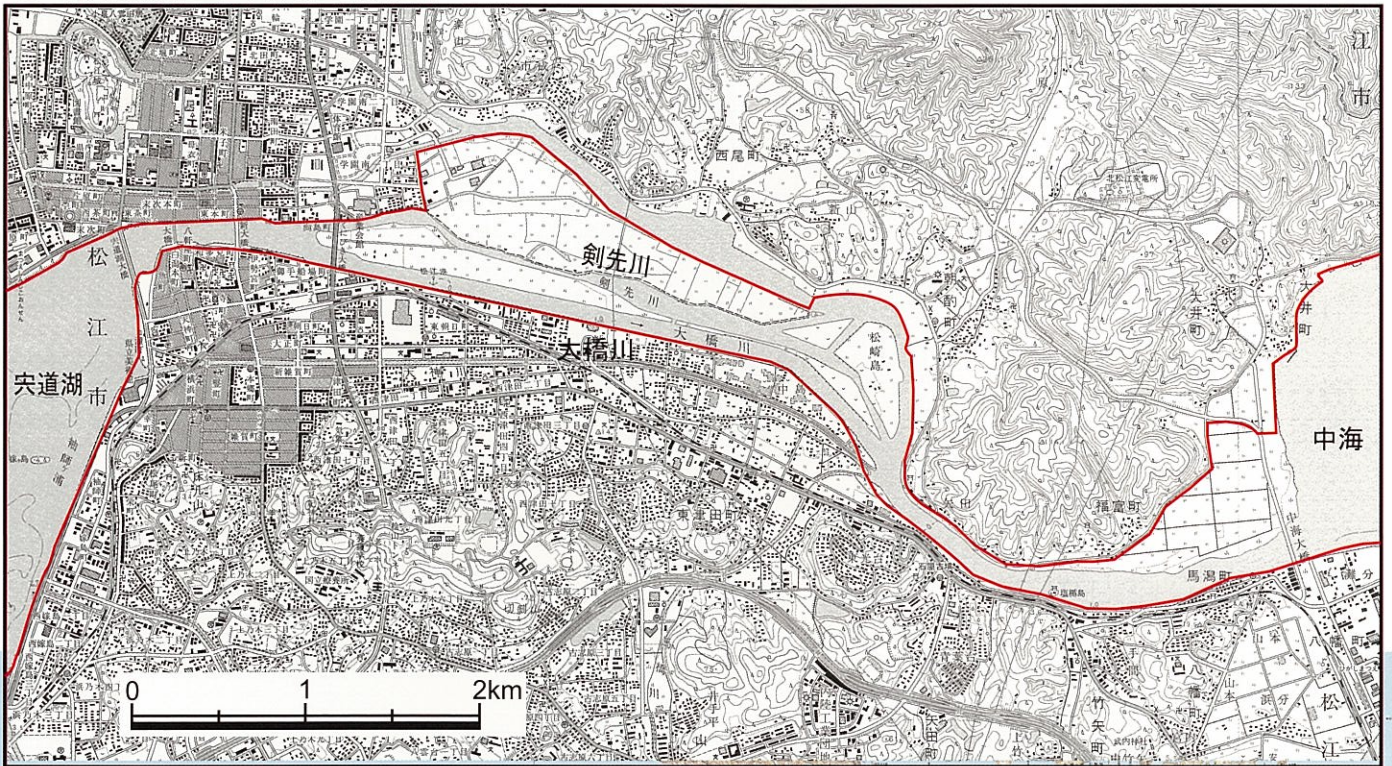
■ 「大橋川改修に関する環境検討委員会」の開催状況については出雲河川事務所のホームページをご覧ください。

http://www.izumokasen-mlit.go.jp/o_kankyocom/001.html

環境調査の範囲

環境調査の範囲は、河床の掘削，河道の拡幅により影響を受ける可能性のある**大橋川および大橋川周辺の湿性地**と流動変化により影響を受ける可能性のある**宍道湖・大橋川・中海(本庄工区含む)・境水道**とします。

○環境調査の調査範囲



●流動変化などを予測するため、気象・水象調査は流域全体を調査範囲とします。

※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図および5万分1地形図を複製し、測量法第29条に基づく複製承認『平17中複 第16号』『平17中複 第17号』を転載したものである。

水環境に係る調査内容

水環境に係る調査は、水質調査、水底の泥土調査、水利用調査および気象・水象調査を行います。

■水質調査（塩分、水温、富栄養化、溶存酸素、土砂による水の濁り）

水質調査は、月1回の採水・分析調査（38地点）と自動監視装置による水質連続測定（7地点）を行います。また、流入河川では負荷量調査を行います。

○水質の調査項目

環境要素	調査項目
塩分	塩分、水温
水温	水温
富栄養化	化学的酸素要求量、窒素化合物、リン化合物 クロロフィルa、溶存酸素量、プランクトン
溶存酸素	溶存酸素量
土砂による水の濁り	浮遊物質、濁度、粒度組成

■水底の泥土調査（水底の泥土）

○水底の泥土の調査方法

調査区分	調査地点	調査頻度
採泥・分析調査	宍道湖, 大橋川, 中海, 境水道 : 20地点	年1回
メッシュ調査	中海・宍道湖湖内の1km四方に1地点	年20地点程度 (各地点1回)
堆積物粒度調査	大橋川, 剣先川, 朝酌川 : 500m間隔程度	1回
改修後掘削面の調査	大橋川 : 上流部, 中流部, 下流部 剣先川 : 縦断方向4地点程度	1回

堆積物粒度調査および改修後掘削面調査の調査地点は、生物に係る調査内容を踏まえて正確な位置を決定します。

■水利用調査（水利用）

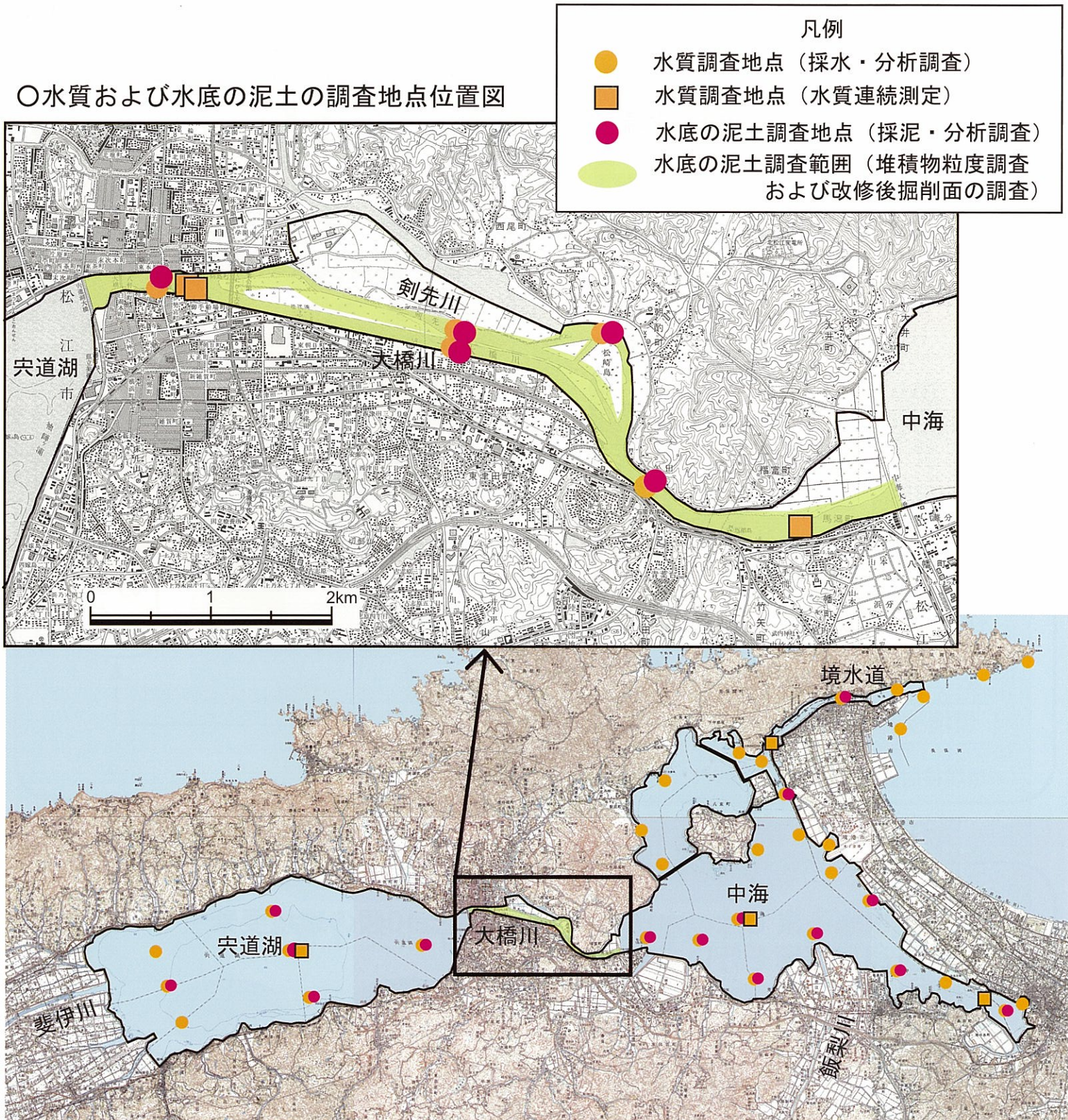
水利用や地下水の状況について、調査・予測範囲周辺を含め、文献・その他の資料による調査及び現地調査を実施します。

■気象・水象調査（気温・風速・湿度・雲量・日射量・降水量、流量・水位）

気象調査は、気温・風速・湿度・雲量・日射量・降水量について、宍道湖大橋川流域（21地点）、中海境界水道流域（7地点）と湖内（宍道湖1地点、中海2地点）において行います。

水象調査は、流量・水位について、宍道湖、大橋川、中海、境界水道の集水区域の水位流量観測所（8地点）と湖内の流動観測所（4地点）および水位観測所（14地点）において行います。

○水質および水底の泥土の調査地点位置図



※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図および5万分1地形図を複製し、測量法第29条に基づく複製承認『平17中複 第16号』『平17中複 第17号』を転載したものである。

生物に係る調査内容

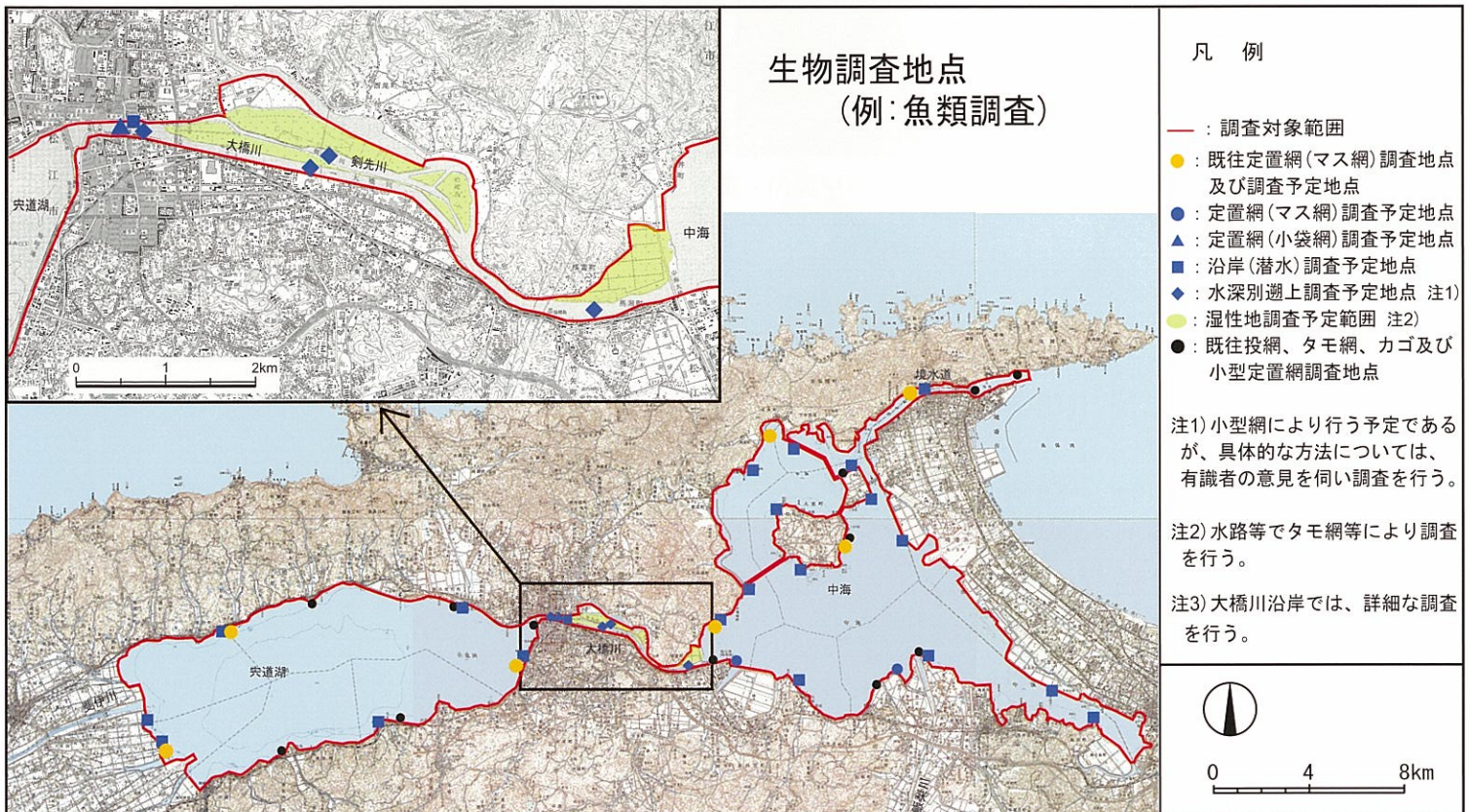
生物に係る調査は、動物、植物、生態系について行います。

■動物・植物

動物・植物の調査は、宍道湖、大橋川、中海(本庄工区含む)、境水道において、P.3に示す調査予測範囲を対象として、動物、植物の生息・生育の地点と量を把握するための調査を行います。

○動物・植物の現地調査

環境要素	調査項目と内容	調査時期
動物	哺乳類、爬虫類、両生類、鳥類、魚類、底生動物、陸上昆虫類・陸産貝類：生息地点と生息量を調査	四季を基本
植物	陸上植物、水生植物(抽水植物、沈水植物、藻類)：生育地点と生育量を調査	四季を基本



※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図および5万分1地形図を複製し、測量法第29条に基づく複製承認『平17中複 第16号』『平17中複 第17号』を転載したものである。

調査結果に基づき、環境省、島根県、鳥取県などのレッドデータブック等により指定されている重要な種および群落への影響を調査していきます。

なお、これまでの整理によって、宍道湖から境水道までの地域では、次のような重要な種および群落が確認されています。

○重要な種及び群落の一覧

【哺乳類】

1	キクガシラコウモリ科	コキクガシラコウモリ
2		キクガシラコウモリ
3	オナガザル科	ニホンザル
4	リス科	ムササビ
5	クマ科	ツキノワグマ

【爬虫類】

1	スッポン科	スッポン
2	ヘビ科	ジムグリ
3		ヒバカリ

【両生類】

1	サンショウウオ科	カスミサンショウウオ
2		ヒダサンショウウオ
3	オオサンショウウオ科	オオサンショウウオ
4	イモリ科	イモリ
5	ヒキガエル科	ニホンヒキガエル
6	アカガエル科	タゴガエル
7		ニホンアカガエル
8		ツチガエル
9	アオガエル科	モリアオガエル
10		カジカガエル

【鳥類】

1	アビ科	シロエリオオハム
2	カイツブリ科	カンムリカイツブリ
3	ペリカン科	ハイロペリカン
4	サギ科	サンカノゴイ
5		ヨシゴイ
6		ミゾゴイ
7		ササゴイ
8		チュウサギ
9		カラシラサギ
10		クロサギ
11	コウノトリ科	コウノトリ
12	トキ科	ヘラサギ
13		クロツラヘラサギ
14		クロトキ
15	カモ科	シジュウカラガン
16		コクガン
17		マガン
18		カリガネ
19		ヒシクイ
20		サカツラガン
21		オオハクチョウ
22		コハクチョウ
23		アカツクシガモ
24		ツクシガモ
25		オシドリ
26		トモエガモ
27		ヨシガモ
28		アカハジロ
29		シノリガモ
30		ホオジロガモ
31		ミコアイサ
32		コウライアイサ
33	タカ科	ミサゴ
34		オジロワシ
35		オオワシ
36		オオタカ
37		ツミ
38		ハイタカ
39		ノスリ
40		サシバ
41		ハイロチュウヒ

【鳥類】 (続き)

42	タカ科	チュウヒ
43	ハヤブサ科	ハヤブサ
44		コチョウゲンボウ
45		チョウゲンボウ
46	キジ科	ウズラ
47	ツル科	クロツル
48		ナベツル
49		マナヅル
50	クイナ科	クイナ
51		ヒクイナ
52	タマシギ科	タマシギ
53	チドリ科	イカルチドリ
54		シロチドリ
55		タゲリ
56	シギ科	ハマシギ
57		ヘラシギ
58		アカアシシギ
59		ホウロクシギ
60		コシヤクシギ
61		オオジシギ
62	セイタカシギ科	セイタカシギ
63	ツバメチドリ科	ツバメチドリ
64	カモメ科	シロカモメ
65		ズグロカモメ
66		コアシサシ
67	ウミスズメ科	マダラウミスズメ
68		ウミスズメ
69	フクロウ科	トラフズク
70		コミズク
71		コノハズク
72		アオバズク
73		フクロウ
74	カワセミ科	カワセミ
75	サンショウクイ科	サンショウクイ
76	モズ科	アカモズ
77	ツグミ科	コルリ
78		ルリビタキ
79		ノビタキ
80	ウグイス科	ウチヤマセンニュウ
81		ヨヨシキリ
82		メボソムシクイ
83		エゾムシクイ
84		キクイタダキ
85		セッカ
86	ホオジロ科	コジュリン
87		ホオアカ
88		シマアオジ
89	アトリ科	ベニヒワ
90	ムクドリ科	ホシムクドリ

【魚類】

1	ヤツメウナギ科	スナヤツメ
2		カワヤツメ
3	コイ科	ヤリタナゴ
4		アカヒレタビラ
5		タモロコ
6	サケ科	サクラマス (ヤマメ)
7	メダカ科	メダカ
8	サヨリ科	クルマサヨリ
9	トゲウオ科	イトヨ
10	カジカ科	カマキリ (アユカケ)
11		カジカ
12	ハゼ科	シロウオ
13		ドウクツミズハゼ
14		シンジコハゼ

【底生動物】

1	タンシカイメン科	ヨコトネカイメン
2		シロカイメン
3		ツツミカイメン
4	アマオブネガイ科	イシマキガイ
5	タニシ科	マルタニシ
6	カワザンショウガイ科	ムシヤドリカワザンショウガイ
7		ヨシダカワザンショウガイ
8	ミズゴマツボ科	ミズゴマツボ
9		エドガワミズゴマツボ
10	カワグチツボ科	カワグチツボ
11	イトカケガイ科	クレハガイ
12		セキモリガイ
13	トウガタガイ科	ヌカルミクチキレガイ
14	キヌタレガイ科	アサヒキヌタレガイ
15	ニッコウガイ科	ユウシオガイ
16	シオサザナミガイ科	ムラサキガイ
17	フナガタガイ科	ウネナシトマヤガイ
18		タガソデガイモドキ
19	シジミ科	ヤマトシジミ
20	オキナガイ科	オキナガイ
21		ソトオリガイ
22	スナウミナナフシ科	シジコスナウミナナフシ
23	イトトンボ科	アオモンイトトンボ
24	サナエトンボ科	ホンサナエ
25		ナゴヤサナエ
26	エゾトンボ科	トラフトンボ

【陸上昆虫類・陸産貝類】

1	ゴマガイ科	オオゴマガイ
2	オカモノアラガイ科	ナガオカモノアラガイ
3	オナジマイマイ科	コウダカシロマイマイ
4	イトトンボ科	アオモンイトトンボ
5	カワトンボ科	アオハダトンボ
6	ヤンマ科	カトリヤンマ
7	サナエトンボ科	ホンサナエ
8		アオサナエ
9		ナゴヤサナエ
10	エゾトンボ科	キイロヤマトンボ
11	トンボ科	マイコアカネ
12		タイリクアカネ
13	キリギリス科	カヤキリ
14	ヒシバタ科	トゲヒシバタ
15	セミ科	ハルゼミ
16	トゲアワフキムシ科	ムネアカアワフキ
17	サンガメ科	マダラカモドキサンガメ
18	マキバサシガメ科	キバネアシフトマキバサシガメ
19	ノコギリカメムシ科	ノコギリカメムシ
20	アメンボ科	エサキアメンボ
21	コオイムシ科	コオイムシ
22		タガメ
23	ヒゲナガトビケラ科	ギンボシツツトビケラ
24	セセリチョウ科	オオチャバネセセリ
25	シジミチョウ科	シルビアシジミ
26	タテハチョウ科	オオウラギンシジモウモン
27	ツバメガ科	ギンツバメ
28	ドクガ科	ナチキシタドクガ
29	ハルカ科	ハマダラハルカ
30	オサムシ科	ダイセンオサムシ
31		イワタメクラチビゴミムシ
32		オオヒョウタンゴミムシ
33	ゲンゴロウ科	マルケシゲンゴロウ
34	コガネムシ科	ミツノエンマコガネ
35	テントウムシ科	ジュウクホシテントウ
36		マクガタテントウ
37	カミキリムシ科	ベーツヒラタカミキリ
38		モンクローベニカミキリ

【陸上植物】

1	ドクダミ科	ハンゲショウ
2	バラ科	シャリンバイ
3	ハマウツボ科	ナンバンギセル
4	キク科	ウラギク
5	カヤツリグサ科	ヒトモトスキ

【水生植物】

1	シヤクモ科	シヤクモ
2		オトメフラスコモ
3	オオイシソウ科	イバラオオイシソウ
4		オオイシソウ
5		インドオオイシソウ
6	コノリハ科	ホソアヤギヌ
7	アリノトウグサ科	ホザキノフサモ
8	トチカガミ科	トチカガミ
9		セキショウモ
10	ヒルムシロ科	オオササエビモ
11	アマモ科	コアマモ
12	イバラモ科	イバラモ
13	カヤツリグサ科	オオクグ
14		シオクグ
15		ウキヤガラ
16		エゾウキヤガラ
17	ミツガシワ科	ヒメシロアサザ
18		ガガバタ
19	ヒルムシロ科	ツツイトモ
20		イトクズモ
21		リュウノヒゲモ
22		カワツルモ
23	ミズアオイ科	ミズアオイ

【重要な群落】

1	朝酌多賀神社のスタジアム林(松江市)
2	オオクグ群落(松江市)
3	カワツルモ群落(松江市)

■生態系

生態系は、地域を特徴づける生態系を保全するという観点で、上位性、典型性、移動性についてとりまとめ、現在、典型性としてヤマトシジミ等を注目種としています。生態系の調査は、上位性、典型性、移動性に着目した調査を実施します。

○生態系の現地調査

環境要素	調査項目と内容	調査時期
生態系	上位性、典型性、移動性：注目種の分布状況や生息環境の調査、食性や移動状況の調査	四季を基本

○大橋川周辺の状況



※左上：大橋川上流部 右上：大橋川上流～中流部 左下：大橋川中流部 右下：大橋川下流部

関 覧 場 所

国土交通省出雲河川事務所
 大橋川コミュニティーセンター
 鳥取県庁 河川課／環境立県推進課
 鳥取県西部総合事務所
 県民局 県民課
 生活環境局 環境・循環推進課
 島根県庁 斐伊川神戸川対策課

米子市役所 環境政策課
 境港市役所 環境防災課
 松江市役所 大橋川治水事業推進課
 (宍道、玉湯、美保関、八束支所でも閲覧可能)
 出雲市役所 建設企画課
 (平田支所でも閲覧可能)
 安来市役所 都市開発課
 斐川町役場 国県事業推進課
 東出雲町役場 産業建設課

■問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所 水環境課
 〒693-0023 出雲市塩冶有原町5丁目1番地 TEL(0853)21-1850

○大橋川改修の具体的内容についての公表資料は、
 「大橋川コミュニティーセンター」で閲覧できます。
 「大橋川コミュニティーセンター」のホームページでもご覧いただけます。

<http://www.mable.ne.jp/~comisen>